

令和4年度第2学期終業式 校長式辞

2022. 12. 23

- それでは、朝の挨拶から始めましょう。桜っ子の皆さん、おはようございます。
- 今日で、「1年の中で一番長い」2学期が終わります。この2学期が始まったのは、半袖でも暑かった8月29日のことでした。その後、熱中症が心配されるほどの暑さの中、汗をかきながら一生懸命練習に取り組み、本番で大きな成功をおさめた体育発表会は9月17日のことでした。それからドリム集会、校内持久走大会、書きぞめ競書会などたくさんの行事がありました。
- 5年生は和太鼓に挑戦し、各クラスがそれぞれの場で発表し、見る人に感動を与えてくれました。また、この2学期には、各学年が徒歩での縦割り遠足やバスを使った社会科見学など、様々な校外学習に出かけました。
- 6年生の修学旅行では、自分たちの力で、すばらしい「進化の旅」を作り上げてくれました。「さすが最高学年」と感心する場面が、旅行中の随所で見られました。
- 季節は夏から秋、そして冬に変わり、今日を迎えました。
- この間(かん)、うれしかったこと、悲しかったこと、楽しかったこと、辛かったことなど色々あったと思いますが、自分が目標に向かって一生懸命頑張れたことは何でしょうか。
- 「一生懸命頑張る」とは、全力で、時間をかけて、あきらめずに、繰り返し、最後まで、やり通すことです。頑張った結果、成功したものもあれば、上手くいかなかったものもあるでしょう。でも、成功か失敗かは関係ありません。人と比べる必要もありません。自分が目標に向かって「一生懸命頑張れたこと」が貴重で、大切なのです。それが成長につながります。
- 先ほど、3年生の〇〇さんが、マラソン、漢字、給食ペロリンの頑張りについてすばらしい発表をしてくれましたね。皆さんも、一人一人、「一生懸命頑張った」ことがあったことでしょう。
- 運動・勉強・係活動や委員会活動・習い事・家のお手伝いなど、内容は様々だと思いますが、2学期の始業式の日にしたように、一人一人が「前向きな気持ち」と「感謝の心」を忘れずに一生懸命頑張ってくれたこと、本当にうれしく思います。
- 今日は、自分が頑張ったこと、そして成長したことをしっかりと振り返り、自分で自分をたくさんほめてあげましょう。そして、それを、3学期の生活に生かし、さらに成長してほしいと思います。

○さて、明日から皆さんが楽しみにしている冬休みが始まります。冬休みは、夏休みに比べるととても短く、2週間ちょっとしかありませんが、クリスマスに始まり、年末年始にはいろいろ楽しみな行事もあるかと思えます。家族でゆっくり過ごす時間や、普段あまり会えない親戚などとう会う機会も、あるかと思えます。

○今年、コロナが流行し出してから初めて、「行動制限のない冬休み」になりますから、久しぶりに会う人がいるかもしれませんね。そのような人たちに「成長した姿」を見せるチャンスでもあります。例えば、久しぶりに会った人に「相手に伝わる気持ちの良いあいさつ」をする、年末の大掃除では「無言清掃」で培った「黙々と掃除をする姿」を家族に見せる、寒い朝でも「朝マラソン」を続けてきた桜っ子は、冬休み中も1日1回は「外で体を動かす」など、自分が学校で頑張ってきたこと、成長できたことを発揮する、そんな冬休みにしてほしいと思えます。

○最後に、「よいお年を」という言葉についてお話します。年末が近づくと「よいお年を」という挨拶をする人をよく見かけると思えます。

○「よいお年を」は、省略しないで言うと、「よいお年をお迎えください。」という文章です。この「お年」というのは「新年＝新しい年」のことです。そして、この言葉は、相手の方と会うのはこれが「今年最後の」というタイミングで使われることが多い言葉です。意味は「12月31日まで無事に過ごして、素敵な新年を迎えてくださいね。」ということです。ぜひ使ってみてください。それでは、桜っ子の皆さん、

「よいお年を お迎えください。」

1月10日（火）の始業式に、皆さんと笑顔で会えることを、楽しみにしています。

これで、お話を終わりにします。